

教科	水産	科目	海洋情報技術	単位数	2 単位
年次	1 年次	学科・コース	食品工学科		
使用教科書		海洋情報技術（海文堂出版株式会社）			
副教材等					

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・ 情報社会や情報技術，情報モラルとセキュリティなどについて情報の意義や役割について理解しよう。
- ・ 実際に情報機器を活用した実習を行いながら，情報機器や情報通信ネットワークに関する知識や技術を身に付けよう。

2 学習評価（評価規準と評価方法）

学習目標	水産の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，水産業や海洋関連産業において情報技術を活用するために必要な資質・能力を育成することを目指す。		
観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	水産や海洋における情報技術について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。	水産や海洋における情報技術に関する課題を発見し，水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	水産や海洋における情報技術の主体的な活用を目指して自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習状況の観察 ・ ノートやワークシートの記述 ・ レポート，観察・実験 ・ 定期考査，実技テスト，小テストの結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習状況の観察 ・ ノートやワークシートの記述 ・ レポート，グループ討議・発表 ・ 定期考査，小テストの結果 ・ (ポートフォリオ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習状況の観察 ・ ノートやワークシートの記述 ・ レポート，グループ討議・発表 ・ 自己評価，相互評価等 ・ (ポートフォリオ)
<p>学習のまとめ（単元等）ごとに，上に示す観点に基づいて，評価規準を設定し，A（十分満足できる），B（おおむね満足できる），C（努力を有する）の3段階で評価します。また，それらの評価を基に学年末に5段階の評定にまとめます。そのために学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。</p>			

3 年間の学習計画等

学期	単元（題材）	知識・技術	思考判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第1章 水産や海洋における情報技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水産や海洋の各分野における具体的な事例から産業社会における情報技術の役割を理解している。 ・ 水産業や海洋関連産業及び関連する職業と情報技術との関わりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水産や海洋の各分野における具体的な事例から産業社会における情報技術の役割についての課題を発見するとともに，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 ・ 水産業や海洋関連産業及び関連する職業と情報技術との関わりについて課題を発見するとともに，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水産や海洋の各分野における具体的な事例から産業社会における情報技術の役割について自ら学び，主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ・ 水産業や海洋関連産業及び関連する職業と情報技術との関わりについて自ら学び，主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
	第1節 さまざまな情報技術			
2 学期	第2節 情報セキュリティと情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的財産の保護や情報の取扱方といった情報モラルの意義や必要性について理解している。 ・ 情報に関する権利や責任，情報の保護に関する法規について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的財産の保護や情報の取扱方といった情報モラルの意義や必要性についての課題を発見するとともに，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 ・ 情報に関する権利や責任，情報の保護に関する法規についての課題を発見するとともに，合理的かつ創造的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的財産の保護や情報の取扱方といった情報モラルの意義や必要性について自ら学び，主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ・ 情報に関する権利や責任，情報の保護に関する法規について自ら学び，主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

2	第2章 水産や海洋における情報コミュニケーションと情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会における多様なコミュニケーションを実現するための情報メディアの特性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会における多様なコミュニケーションと情報メディアについての課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会における多様なコミュニケーションと情報メディアについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
	第1節 情報メディア			
期	第2節 情報のデジタル化と情報処理	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的な機能や機器の仕組みについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的な機能や機器の仕組みについての課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的な機能や機器の仕組みについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
	第3章 コンピュータとプログラミング			
3	第1節 情報の表現方法	<ul style="list-style-type: none"> ・2進数や論理回路などのコンピュータ内部における情報処理の仕組みについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2進数などのコンピュータ内部における情報処理の仕組みについての課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2進数などのコンピュータ内部における情報処理の仕組みについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
	第2節 アプリケーションソフトウェアの使用法			
学	第2節 アプリケーションソフトウェアの使用法	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアの役割や体系の概要について理解している。 ・アプリケーションソフトウェアの使用法などの基礎的な内容について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアの役割や体系の概要についての課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 ・アプリケーションソフトウェアの使用法などの基礎的な内容についての課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアの役割や体系の概要について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ・アプリケーションソフトウェアの使用法などの基礎的な内容について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
	期			

※上記の内容は授業の進度によって変更される場合があります。